

Adoption Inclusive Culture (Megan)

養子を受け入れる包括的文化

はじめに

・養子のための国家評議会 (NCFA) : すべての子どもが恒久的な養育家庭の中で成長するに値するという信念をもとに情熱的に取り組み、子どもたち、実親、養子縁組をした個人また家族、養子縁組に関わったすべての人たちの多様なニーズに、世界的な提唱、教育、調査、法的アクションおよび協働により対応することをミッションとしています。

なぜ私たちは家族が必要か

- ・ 子どもの脳発達 : サーブ&リターン (サーブし、返す) の関係
- ・ サーブ&リターンの例
- ・ 家族の養護 vs 関係機関または一時的養護

1. 一人か二人の世話人が信頼できるゆるぎない関係を提供する。
2. 多数の子どもたちに責任のある世話人は、一対一の関係性に必要な注意を十分に差し向ける時間がない。
3. 子どもの世話人が変わると、サーブ&リターンを通して発達しなければならない信頼関係が、あらためて再度構築されなければならない。

- ・ 児童福祉の観点 : 子どもにとっての最善で恒久的な解決策を見つける。

この表は完璧ではないかもしれませんが、個々の子どものニーズは考慮されなければなりません。一般的に、子どもはこの優先順位で上位に近い形で養護されるべきと私は信じています。

1. 生物学上の親
2. 生物学上の親戚または非常に近い関係性の個人
3. 国内養子縁組 (子どもの出生のコミュニティや文化にできる限り近い)
4. 国外養子縁組
5. 一時的な里親の保護
6. 施設による保護

・米国の養子縁組統計

里親による養護 :

里親により養護されている子ども :	397,122
養子縁組を待機中の子どもたち :	101,666
養子縁組された子どもたち :	52,039

(www.adoptuskids.org or <http://www.acf.hhs.gov/sites/default/files/cb/afcarsreport20.pdf>)

乳幼児養子縁組 :	18,078
-----------	--------

(https://www.adoptioncouncil.org/images/stories/Adoption_Factbook_Press_Release_Extended.pdf)

海外養子縁組： 8,668

(www.adoption.state.gov)

国内養子縁組合計： 133,737

(義父母、成人養子縁組、またその他の自主取り決めも含む)

養子縁組という文化を育てる

・ 公的教育と啓発

○目標：養子縁組：家族以外と暮らしている子どもたちに関する、正常で受け入れられる返答。

- ・ 真実の話。
- ・ 正確で偏見のない言語。

・ 制度と法律

○法的な可能性：子どもが生物学上の親により育てられない場合、できる限り完全に他の家族の一員になることを法的に可能にする方法を築くのは正しいことです。

- ・ 法律は子どもに焦点があてられるべきである。
- ・ 法律は明確でありながら、個々の子ども独特なニーズが満たされるように柔軟であるべき。

○平等な権利： 養子縁組された子どもたちは、生物学上の家族の子どもたちと同等な機会を持つべきである。

○経済的および奉仕に対する支援： 税額控除、医療及び法的費用の支援、特殊支援を必要とする子どもと家族のための特殊サービス。